

つくる がまち八幡

6月8日に開会しました平成24年八幡市議会第2回定例会で、堀口市長が市政運営の基本的な方針と主要な施策を示す「施政方針」を述べました。その主な内容と補正予算額を紹介します。また、施政方針の全文は市ホームページ (<http://www.city.yawata.kyoto.jp/>) に掲載しています。

方針 7つの基本目標

我が国の経済は、平成23年3月に未曾有の被害をもたらした東日本大震災や台風12号などの自然災害の発生もあり、依然として厳しい状況にあります。

本市の財政状況は、定員適正化計画による職員数の削減、給料表の改定、地域手当の引き下げなど、第4次行政改革実施計画をはじめとする行政改革を行った結果、年々改善してきております。

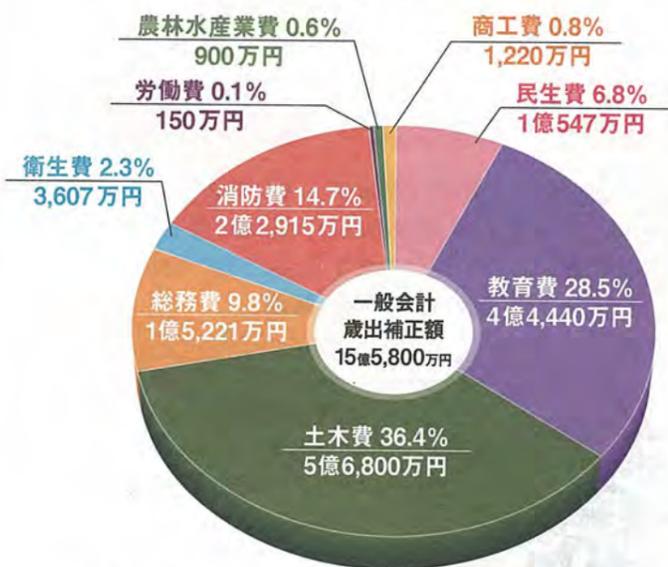
しかし、生活保護費をはじめとする社会保障関係経費の増加は著しく、また、既存公共施設の耐震化も含めた改修など、多くの財政需要があることから、第5次行政改革実施計画を完遂しなければならぬと考えております。

このようななか、平成24年度は、市制施行35周年を迎える年であり、第4次八幡市総合計画の後期基本計画がスタートいたします。市民のための市民の活力あふれるまちづくりを進めるに当たりまして、市民協働が市政全般の基本と考えてまいります。京都府と力を合わせ、

■ 会計別の補正予算

会計名	当初予算	補正	予算合計
一般会計	229億2,000万円	15億5,800万円	244億7,800万円
特別会計			
国民健康保険会計	85億6,080万円	483万円	85億6,563万円
介護保険会計	41億3,260万円	1,490万円	41億4,750万円
水道事業会計	17億2,516万円	700万円	17億3,216万円
下水道事業会計	21億8,696万円	500万円	21億9,196万円

一般会計歳出補正額15億5,800万円の内容



【歳出科目の説明】

- 民生費…高齢者・障がい者・児童の福祉など
- 教育費…小中学校や生涯学習の充実・スポーツ振興など
- 土木費…道路や公園の整備・管理など
- 総務費…住民票の発行・庁舎管理など
- 衛生費…市民の健康・ごみ処理など
- 消防費…消防・救急など

1、合わせて進めるまちづくり

自助) もいものもの力(公わけ、人の大切さが大切とりが、人ことを基行政の協す。活動セン



6 安心して暮らせる安全で快適なまちづくり



市民の皆様生命と財産を守る防災、防犯、消防、救急対策を充実し、市民の皆様が安心して暮らせる安全で快適なまちづくりを進めてまいります。

- 市民協働防災対策基金新設(新規)1億円
- 庁舎耐震診断実施(新規)800万円
- 幼稚園、小学校、中学校の非構造部材耐震事業(新規)1,130万円
- 橋本公民館大規模改造事業(耐震補強含む)(継続)1億1,907万円

- 男山児童センター・男山公民館大規模改造事業(耐震補強含む)(継続)1億1,697万円
- 保育園園舎耐震診断実施(南ヶ丘第二、みその、みやこ、わかたけ)(新規)970万円
- 木造住宅簡易耐震改修事業(新規)150万円
- 消防救急無線のデジタル化整備(新規)2億1,000万円

- 防災対策機器・防災備蓄品の充実(拡充)300万円
- 犯罪被害者等支援事業(新規)40万円
- 市道土井南山線山柴交差点改良(新規)200万円
- 男山地域再生事業費(新規)250万円
- 公営住宅整備事業費(継続)1,690万円

7 計画の実現に向けた取組や体制の強化

人口急増時に採用した職員の大量退職がここ数年続いており、蓄積された知識、技術、経験の継承や権限移譲への対応が課題となっております。経験年数が浅い職員に対して、迅速かつ的確な業務遂行能力を付与していくため、各部署におきまして、業務マニュアルの作成を徹底し、業務遂行レベルを維持していくとともに、各種研修の充実に努め、人事評価制度と併せて総合的な人材育成に取り組んでまいります。

- 市長給料10%カット(平成24年7月から平成25年3月分)(新規)△81.9万円
- 公共施設有効活用基本計画策定(新規)300万円

市民協働で

まちづくり

施政

本市の将来都市像である「自然と歴史文化が調和し、人が輝く、やすらぎの生活都市」の実現に向け、定められた七つの基本目標、なかでも当面は、教育、活力、安心・安全を軸とし、これからのわがまち八幡づくりを進めてまいります。



八幡市長
堀口文昭

2 次代を担う人づくりを進め、文化芸術を守り育てるまちづくり

次代を担う子どもたちの健やかな成長は、家庭はもちろんのこと、地域全体の願いです。安心して子どもが育つ環境整備を進めてまいります。

また、市民の皆様が文化、芸術、スポーツなどの活動を通じて心豊かに暮らせるよう、歴史・文化遺産を活かしたまちづくりを進めてまいります。

- 学校改革推進事業（学力向上推進経費など）（拡充）2,468万円
- 中学校昼食に関するアンケートの実施（新規）10万円
- 子育て支援センター事業（拡充）50万円
- 新たな子育て支援施設の設置に向けた調査（新規）10万円
- 子育て支援医療給付（拡充）3,080万円
- 八角堂境内用地取得（新規）5,000万円



3 豊かな自然を守り、循環型の社会づくりを進めるまちづくり

京都府内で初めてとなる環境自治体宣言を行った市として、今後も循環型の社会を目指し、まちなみや身近な河川、公園、緑地などの自然が美しく保たれるよう、取り組んでまいります。

- 電気自動車導入（新規）290万円
- 環境自治体宣言10周年記念事業（スマートエコ祭開催）（新規）40万円



1 人権を大切にみんなが力を

自分の家族だけで解決できるものがありますが、それだけでは解決できません。地域の方々（共助）や行助が必要となってまいります。ととの絆、助け合う心、分かち合う喜びが実感できる地域コミュニティの充実に努めてまいります。市民の皆様一人ひとりの権利を尊重し、互いを認め、理解し合えるよう、市民の皆様、NPO、事業者によるまちづくりを進めてまいります。

- 旧八幡東小学校関連事業（市民協働センターの開設など）（新規）3,100万円

4 だれもが明るく元気に暮らせるまちづくり



少子高齢化が進行するなか、だれもが明るく元気に暮らせるまちを実現するためには、地域社会のなかで支え合っていただくことが大切です。地域コミュニティにおける福祉活動を支援するとともに、市民の皆様の健康意識の高揚に努め、日々元気に暮らせるまちづくりを進めてまいります。

- 高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成（新規）1,100万円
- 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付助成（新規）50万円
- 地域包括支援センター1カ所増設（拡充）40万円
- 高齢者ふれあい入浴事業助成（拡充）18.5万円
- さつき近隣公園健康遊具設置（新規）300万円

5 人がつどい、活力あふれるまちづくり

元気で活力あふれるまちであり続けるためには、安全で新鮮な農産物が提供できる都市近郊農業や商工業の振興及び人が賑わうまちであることが欠かせません。近年の高速道路網の整備という地の利を生かし、多くの人、企業が集まる活力あるまちづくりを進めてまいります。

- 橋本駅周辺拠点整備事業（継続）3億8,100万円
- 二階堂川口線パイパス事業（継続）5,000万円
- 科手土井線道路整備事業（府道京都守口線関連）（継続）150万円
- 国道1号歩道設置に伴う上下水道未整備地域の整備（新規）500万円
- 駅前観光案内所開設経費（新規）615万円
- 都市・農村ふれあい事業（地域交流推進事業費助成）（新規）10万円
- 地域農業担い手認定者支援事業助成（拡充）40万円
- 安全・安心でおいしいお米生産助成（拡充）100万円



- 中小企業融資対策事業（拡充）50万円
- 八幡ブランド商品普及事業（新規）万円
- 観光資源魅力向上事業（緊急雇用創出）（新規）150万円